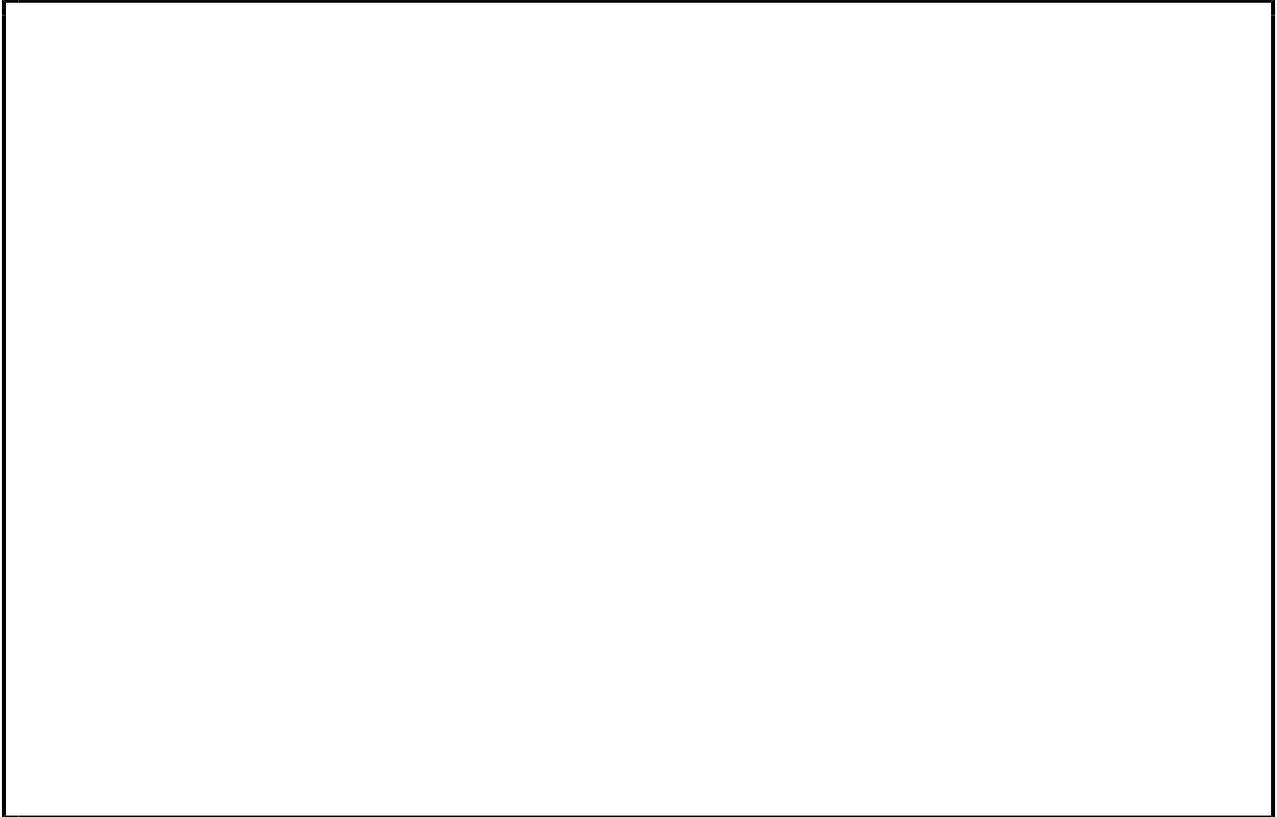


# 生き物のようすをあらわす音楽をつくろう

NO1

名前( )

自分がイメージする動物やこん虫の絵か写真



どんな様子を表したいですか。ことばで書いてみましょう。



# 生き物のようすをあらわす音楽をつくろう

NO2

名前( )

## 音楽づくりのイメージ計画書をつくろう

自分がイメージした動物やこん虫の様子は、どのようにすれば音楽で表すことができるでしょうか。

	表したいこと	表し方	音楽の材料
はじめ			
なか			
おわり			

# 生き物のようすをあらわす音楽をつくろう

NO3

名前( )

## 発表原稿をつくろう

音楽で表したいと思ったイメージ、イメージを表すために自分がどのようにくふうしたのか、わかりやすく伝えましょう。

わたしは

というイメージを音楽で表しました。(音楽をつくりました。)

**はじめ**は(に),

**なか**は,

**おわり**は,

(苦労したところは,)

きいてください。



# 生き物のようすをあらわす音楽をつくろう

NO5

発表会を終えてふりかえりをしましょう。

自分の作品について思ったこと

発表をきいて思ったこと

アドバイスをもらって思ったこと

この勉強をした感想

生き物のようすをあらわす音楽をつくろう

## 音楽の材料表

せんりつ	音色
はやさ	しくみ

生き物のようすをあらわす音楽をつくろう

# 音楽グラフ

(縦のじく：音の高さ 横のじく：はやさ)

音が高い

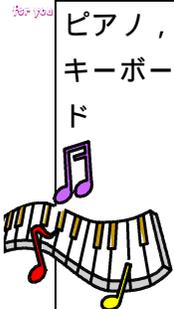
ゆっくり

はやい

音が低い



《参考：パート練習の方法の，“メリット”と“デメリット”》

	メリット	デメリット
 <p>ピアノ、キーボード</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習したいところからすぐに練習できるので、時間を有効に使って練習をすることができる。</li> <li>・一部分を繰り返して、分かるまで練習をすることができる。</li> <li>・難しいところは、ゆっくりと（速さを変えて）練習ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器が必要。</li> <li>・弾ける人がいないと、練習が成り立たない。</li> </ul> <p>そこで提案！</p> <p>クラスで協力して、「出張サービス」（他のパートの練習を手伝う）をしてみよう。</p>
 <p>範唱CD（テープ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジカセがあれば練習できる。</li> <li>・曲を通して練習するのに便利。</li> <li>・美しい発声で歌っているので、マネをすれば合唱にふさわしい声になる。（範唱CD）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習したいところだけ練習することは難しい。（曲の途中から練習することは不可能）</li> <li>・同じ速さでしか練習できない。（難しいからと言って、機械の速さを変えることはできない。）</li> </ul>

合唱 “感動” を伝える，表現の工夫をしよう

「楽譜」や「音」だけでなく、「歌詞」にも注目しよう。

クラス全員で、一つのを創り上げていくから、おもしろい！

合唱練習のポイント

・「難しいところ」「（先生、友達からの）アドバイス」を楽譜に記入。

楽譜を“綺麗なまま”使わない！

自分が思っているよりオーバーに表現するぐらいがちょうどいい！

・「聴き役」を作ろう。

お互いに聴き合って、アドバイスをしよう。

・積極的に自分の考えを伝えよう。（          な感じで歌いたい，など）

・究極のアドバイス（ここだけの話。他の人にはナイショ♥）

つられたくなかったら、他のパートより大きな声で歌え！

4 選曲について

課題曲の他に、「選択曲」を歌います。クラスで話し合っ、自分たちに合う（感性にピッタリとくる曲，クラスの雰囲気合っている曲）を選びましょう。

選曲から合唱コンクールは始まっているのだ。

けんとう  
 それでは，健闘を祈る！

混声合唱の響きを味わおう 学習プリント No.2

年 組 番 (氏名)

活動の流れ

第1ステージ(主に鑑賞)	選曲	1時間
第2ステージ(主に表現)	曲の「骨格」をつくる ・音取り(音程やリズムを確認する=覚える)	1年(4)2・3年(3)
第3ステージ(主に表現)	曲に「表情」を付ける ・表現の工夫	2時間
第4ステージ(表現, 鑑賞)	発表準備 ・リハーサル, 発表(文化祭, クラス内で)	1時間

\*合唱コンクールは「行事」です。選曲, 練習, リハーサルは, 音楽の時間だけでなく, 学級でも進めていきましょう。

\*授業では, 課題曲は各学年とも1学期に学習済みですから, 自由曲を中心に学習を進めます。

【さあ, 合唱練習スタート!! ~第2ステージ~】

月日	今日の活動の“あしあと”	from 先生
1 年 生 の み ( )	目標(活動内容): 合唱練習の進め方を知る。	
	自 1【関意態】 しっかり話を聞き, 進んで練習をした。 1 2 3 4 5	
	己 2【関意態】 [1時間]や[題材全体]の活動の流れが分かった。 1 2 3 4 5	
	評 3【感・工】 合唱にふさわしい声の出し方を理解した。 1 2 3 4 5	
	価 4【技能】 「3」を実際にやることができた。 1 2 3 4 5	
	今日の成果 (次への課題)	
美 し い 響 き を ( )	目標(活動内容): パートテープを作成して, 練習を効率的に進められるようにしよう。 *《今日, あなたが重視する“音楽の素”》 《 リズム, 音程 》	
	自 1【関意態】 「目標」達成のために, 進んで練習をした。 1 2 3 4 5	
	己 2【感・工】 指摘されたことを注意(意識)して練習をした。 1 2 3 4 5	
	評 3【技能】 発声(声量, 響きなど)に気を付けた。 1 2 3 4 5	
	価 4【技能】 音程, リズムなどを覚えることができた。 1 2 3 4 5	
	今日の成果 (次への課題)	
つ く ろ う ! ( )	目標(活動内容): *《今日, あなたが重視する“音楽の素”》 《 》	
	自 1【関意態】 「目標」達成のために, 進んで練習をした。 1 2 3 4 5	
	己 2【感・工】 指摘されたことを注意(意識)して練習をした。 1 2 3 4 5	
	評 3【技能】 発声(声量, 響きなど)に気を付けた。 1 2 3 4 5	
	価 4【技能】 音程, リズムなどを覚えることができた。 1 2 3 4 5	
	今日の成果 (次への課題)	
骨 格 づ く り ( )	目標(活動内容): *《今日, あなたが重視する“音楽の素”》 《 》	
	自 1【関意態】 「目標」達成のために, 進んで練習をした。 1 2 3 4 5	
	己 2【感・工】 指摘されたことを注意(意識)して練習をした。 1 2 3 4 5	
	評 3【技能】 発声(声量, 響きなど)に気を付けた。 1 2 3 4 5	
	価 4【技能】 音程, リズムなどを覚えることができた。 1 2 3 4 5	
	今日の成果 (次への課題)	
予備 / ( )	目標(活動内容): *《今日, あなたが重視する“音楽の素”》 《 》	
	自 1【関意態】 「目標」達成のために, 進んで練習をした。 1 2 3 4 5	
	己 2【感・工】 指摘されたことを注意(意識)して練習をした。 1 2 3 4 5	
	評 3【技能】 発声(声量, 響きなど)に気を付けた。 1 2 3 4 5	
	価 4【技能】 音程, リズムなどを覚えることができた。 1 2 3 4 5	
	今日の成果 (次への課題)	

混声合唱の響きを味わおう 学習プリント No.3

年 組 番 (氏名)

活動の流れ

第1ステージ(主に鑑賞)	選曲	1時間
第2ステージ(主に表現)	曲の「骨格」をつくる ・音取り(音程やリズムを確認する=覚える)	1年(4) 2・3年(3)
第3ステージ(主に表現)	曲に「表情」を付ける ・表現の工夫	2時間
第4ステージ(表現, 鑑賞)	発表準備 ・リハーサル, 発表(文化祭, クラス内で)	1時間

【曲に表情を付け, 思いを込めよう!! ~第3ステージ~】

月日	今日の活動の“あしあと”	from 先生
/ ( )	目標(活動内容): *《今日, あなたが重視する“音楽の素”》 《 》	
	自 1【関意態】目標達成のために, 協力しながら進んで練習をした。 1 2 3 4 5	
	己 2【感・工】指摘されたことを注意(意識)して歌うことができた。 1 2 3 4 5	
	評 3【感・工】互いの声部(パート)を聴き合って歌うことができた。 1 2 3 4 5	
	価 4【技能】発声(声量, 響きなど)に気を付けて歌うことができた。 1 2 3 4 5	
い	今日の成果 (次への課題)	
/ ( )	目標(活動内容): *《今日, あなたが重視する“音楽の素”》 《 》	
	自 1【関意態】目標達成のために, 協力しながら進んで練習をした。 1 2 3 4 5	
	己 2【感・工】指摘されたことを注意(意識)して歌うことができた。 1 2 3 4 5	
	評 3【感・工】互いの声部(パート)を聴き合って歌うことができた。 1 2 3 4 5	
	価 4【技能】発声(声量, 響きなど)に気を付けて歌うことができた。 1 2 3 4 5	
の	今日の成果 (次への課題)	
/ ( )	目標(活動内容): *《今日, あなたが重視する“音楽の素”》 《 》	
	自 1【関意態】目標達成のために, 協力しながら進んで練習をした。 1 2 3 4 5	
	己 2【感・工】指摘されたことを注意(意識)して歌うことができた。 1 2 3 4 5	
	評 3【感・工】互いの声部(パート)を聴き合って歌うことができた。 1 2 3 4 5	
	価 4【技能】発声(声量, 響きなど)に気を付けて歌うことができた。 1 2 3 4 5	
の	今日の成果 (次への課題)	

## 鑑賞 箏曲「六段の調」

1年 組 名前

「六段の調」の中にはいろいろな奏法が含まれています。どんな奏法が出てくるかまとめてみましょう。さらに、どんな音色だったか言葉で表してみましょう。

奏法名	言葉や声で表すと	記号	奏法名	言葉や声で表すと	記号
			ばねのばし	びよよよ～ん!	バ

G Tの演奏を注意して聴き、上記の奏法が出てきた段に を付けよう

奏法					
初段					
二段					
三段					
四段					
五段					
六段					

特徴的なリズムは・・・

何度も出てくるこのリズムはどのように聴こえますか。 ～ 回目まで言葉をあてはめていきましょう。


箏からどんな音色が聴き取れましたか。次の2点に注意して感想を書いてみましょう。

- ・いろいろな奏法によってどのように違いがでてくるか。
- ・同じリズムでも速度によってどのように違いが出てくるか。

# 鑑賞 箏曲「六段の調」

1年 組 名前

唱歌について

まず、読み仮名から！！

**唱 歌**よみがな( )

唱歌とは・・・

旋律や奏法を覚えやすいように、言葉で表現したものを唱歌といいます。  
通常楽譜の左側にカタカナで書いてあるのが唱歌です。

この唱歌は、まだ楽譜がなかった時代に、曲とその奏法を覚えるのに便利なように考案されたもので、楽譜が普及した現在でも、箏を指導する際には必ずこの唱歌によって行います。特に古典特有のリズム等は、この唱歌によってとても的確に表現することができます。

さらに、音程や音の長さ、音の雰囲気や表情を表すことができる優れた方法なのです。

今のGTの唱歌を参考にして自分で唱歌を創ってみましょう。考えるより自分の耳と感性のおもむくままに書いてみましょう。

初段、三段、六段のやりやすいところからはじめてみましょう！

< 初段 >

< 三段 >

< 六段 >



# 唱歌づくりをして感じたこと・・・

1年 組 名前

今回の活動を通してわかったことや感じたことを、「音色」「リズム」「速度」の三つに絞って感想を書きましょう。

---

---

---

---

---

---

---

---

# 唱歌づくりをして感じたこと・・・

1年 組 名前

今回の活動を通してわかったことや感じたことを、「音色」「リズム」「速度」の三つに絞って感想を書きましょう。

---

---

---

---

---

---

---

---

# 唱歌づくりをして感じたこと・・・

1年 組 名前

今回の活動を通してわかったことや感じたことを、「音色」「リズム」「速度」の三つに絞って感想を書きましょう。

---

---

---

---

---

---

---

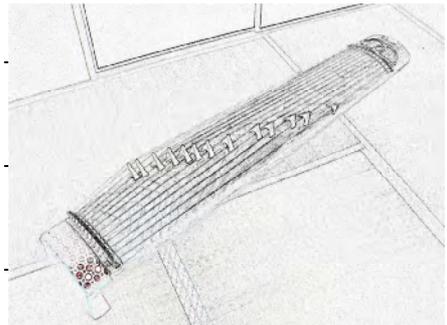
---

# 鑑賞 箏曲「六段の調」

1年 組 名前

箏曲「六段の調」を聴いて友達に紹介文を書いてみましょう。

この曲は「六段の調」という曲です。

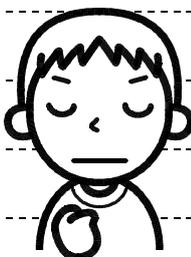


# 鑑賞 箏曲「六段の調」

1年 組 名前

友達の紹介文を読んでどのようなことがわかりましたか？。また、どのようなことを感じましたか？。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----



今回の授業を通して、鑑賞する上で大切なことは何だと思いましたか？。  
今回の授業を通して、音楽の聴き方がどのように変わったと思いますか？。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

